

# 早明浦ダム再生事業の進捗状況 (令和7年12月版)

早明浦ダム再生事業推進室

撮影日: 令和7年12月3日



# 工事進捗状況

撮影日: 令和7年11月20日

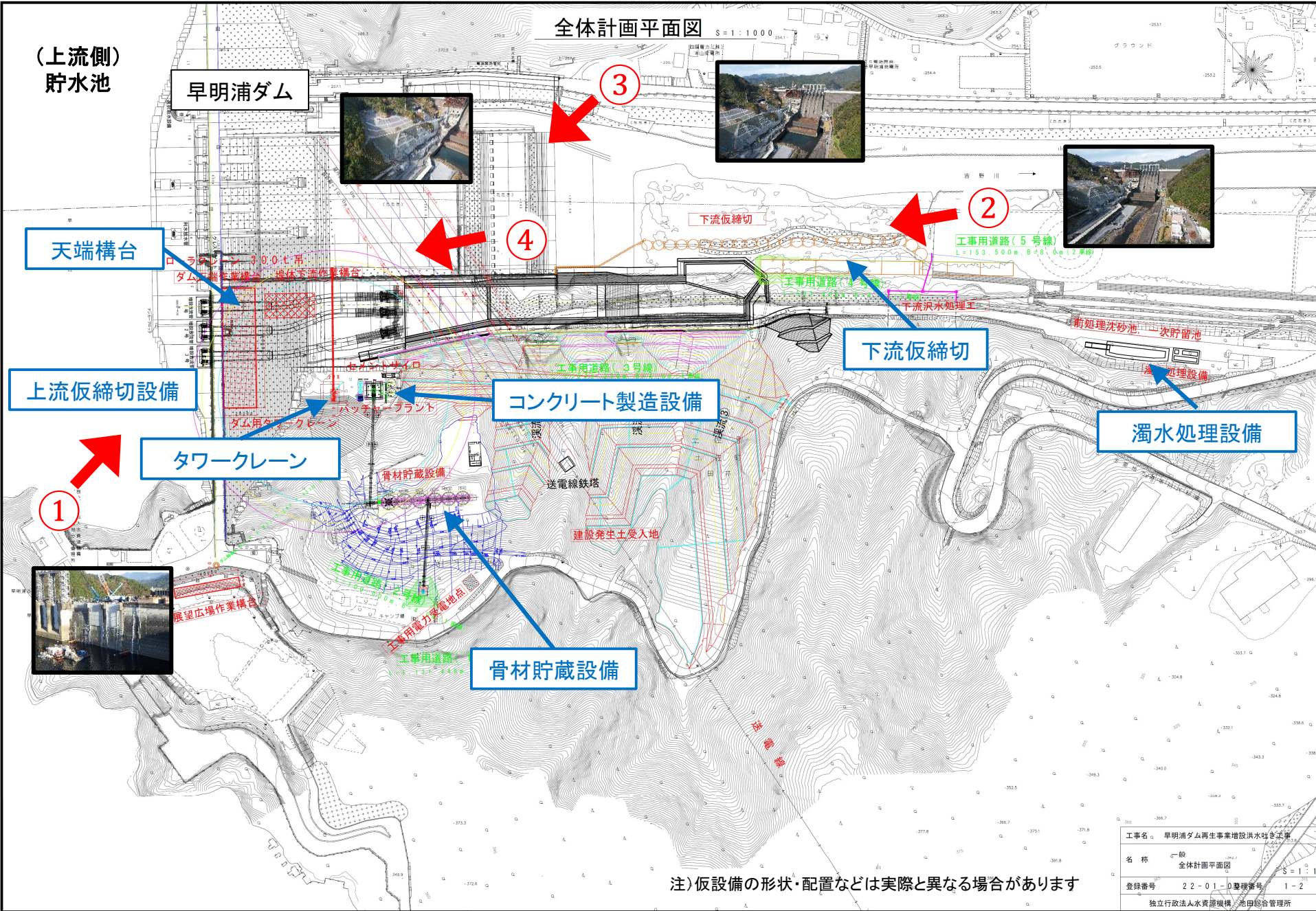
※先月の写真を引用





# 工事進捗状況

撮影日:令和7年12月3日、10日



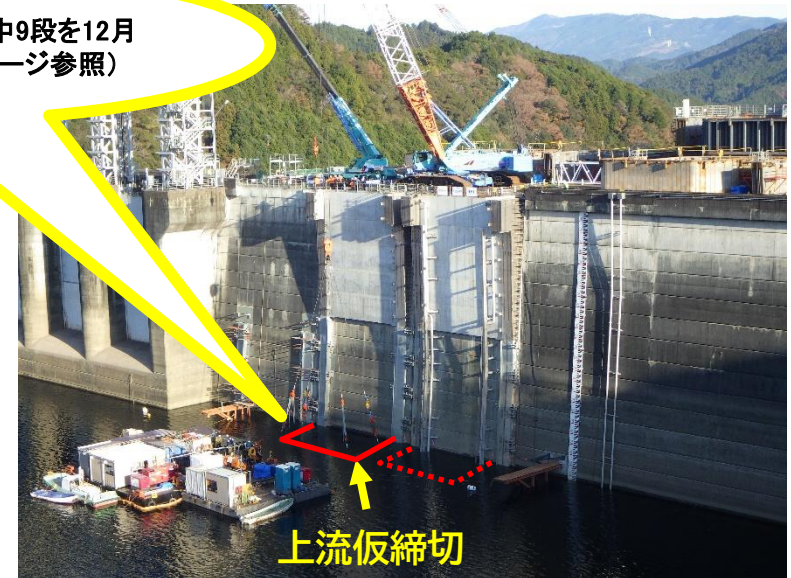


# ①ダム上流側工事



令和6年8月

上流仮締切の扉体全18段中9段を12月10日に移動しました(次ページ参照)



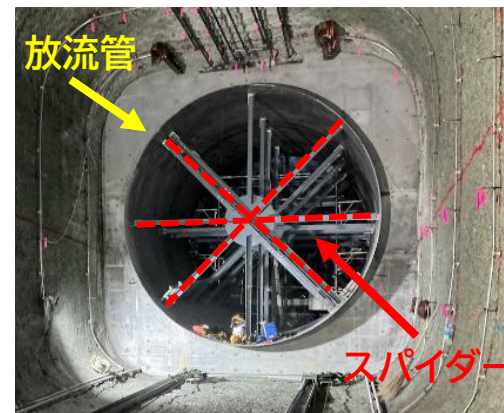
令和7年12月



上流仮締切内の様子  
(上から見た写真)



放流管



放流管

スパイダー

堤体削孔部に設置した放流管の一部  
左:放流管据付 右:放流管の周りにコンクリート充填後  
(堤体削孔の下流側から見た写真)



令和7年10月 3号放流管内  
(スパイダー撤去後の写真)



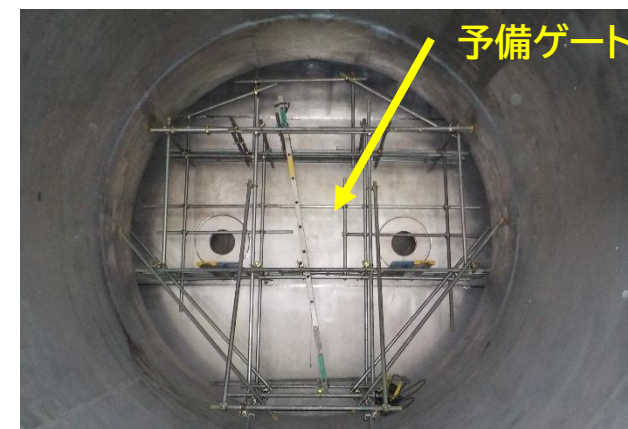
# ①-1上流仮締切移設の流れ



予備ゲート設置状況



上流仮締切内側から見た予備ゲート



3号放流管内側から見た予備ゲート

予備ゲート設置により、3号に設置していた上流仮締切の移設が可能になり、次の貫通予定孔である2号(左隣)へ、全18段中10段の浮体式扉体の移設を行いました。  
上流仮締切の浮体式扉体の移設は国内初の作業です。

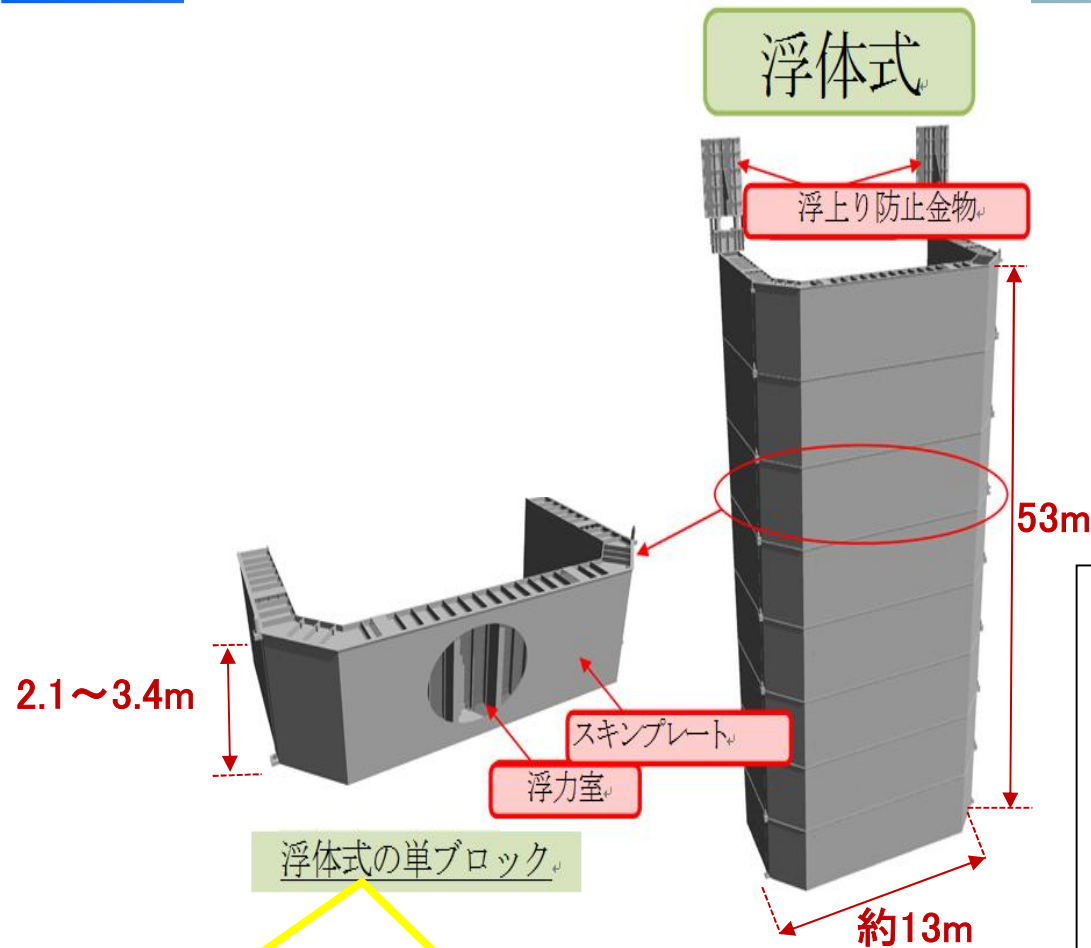


移設作業実施

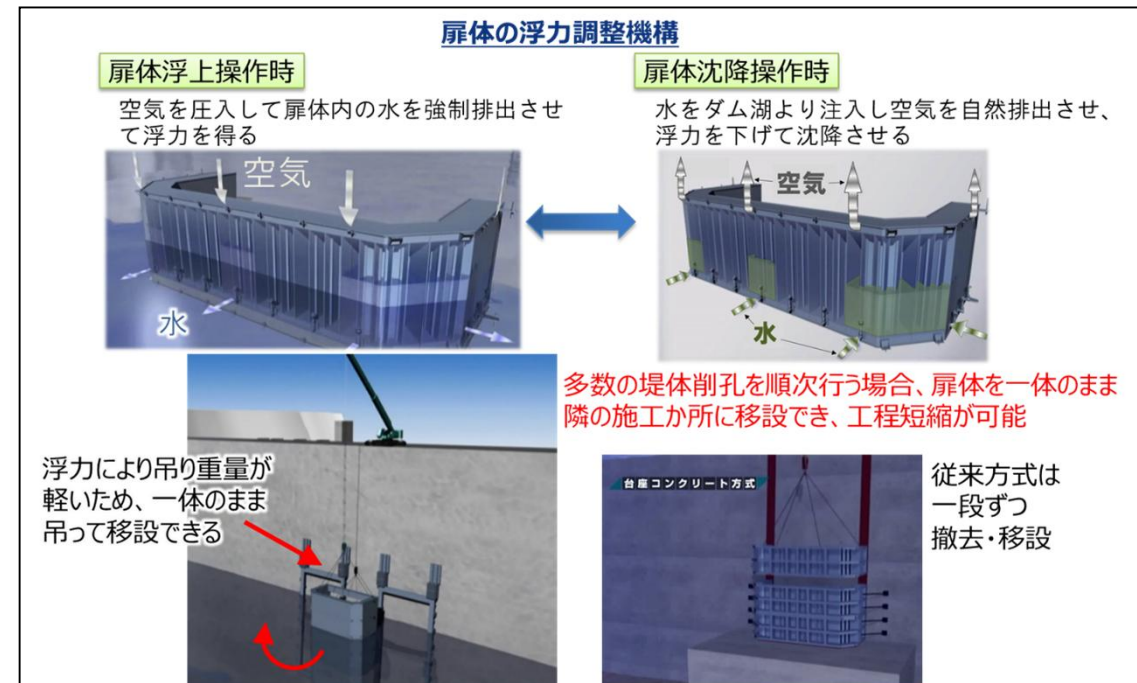




# ①-2 上流仮締切浮体式扉体とは



扉体の中に空気を入れてクレーンで吊る重さを軽減させることで、扉体同士を連結したままクレーンで吊って隣の場所へ移設します。  
この方法により移設に必要な日数を短くすることができます。





## ②ダム下流側工事



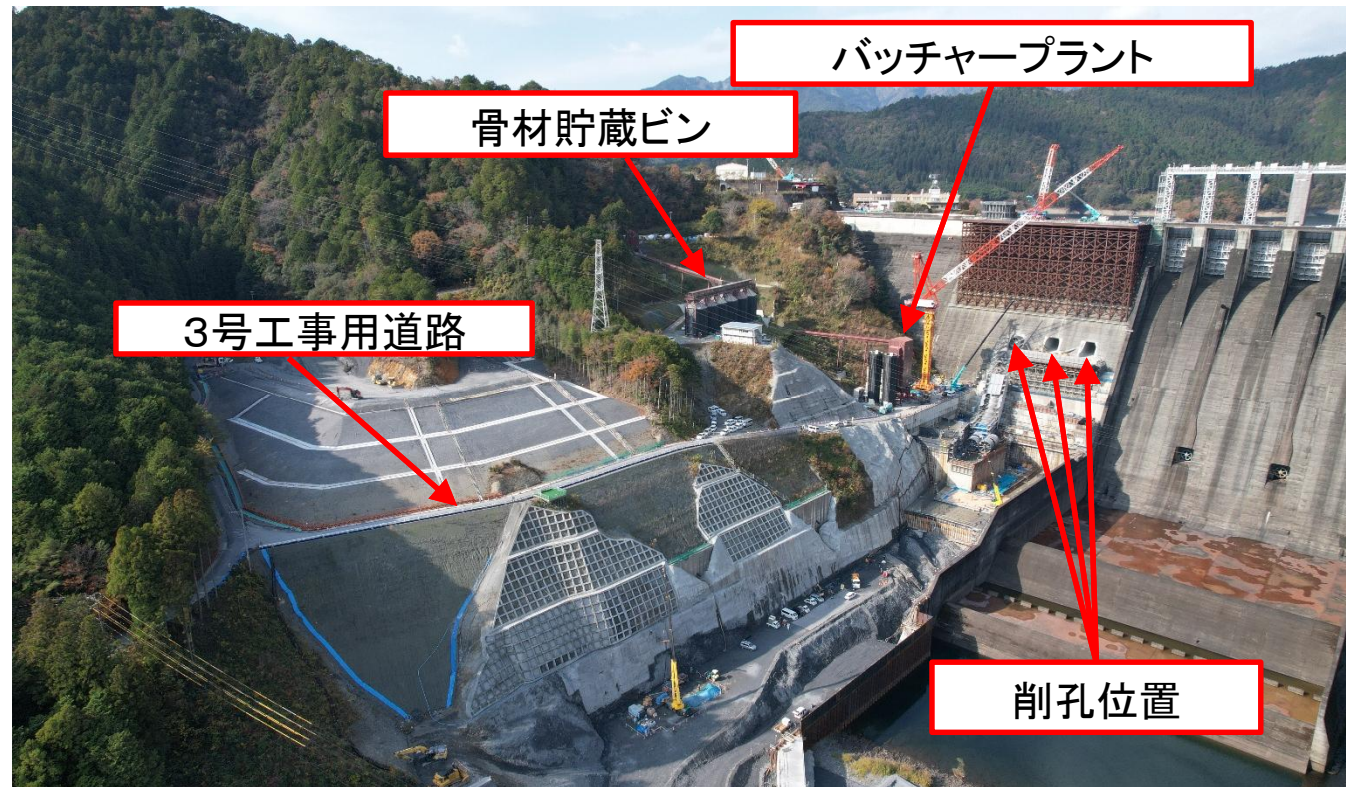
令和6年8月



令和7年12月



# ③ダム下流側工事



令和7年12月(現在)



令和6年8月(撮影当初)



令和7年7月



令和7年9月



# ④堤体削孔および放流管設置



〈堤体削孔の進捗〉R7.12月末

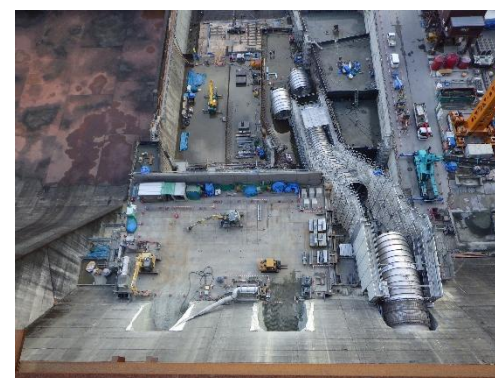
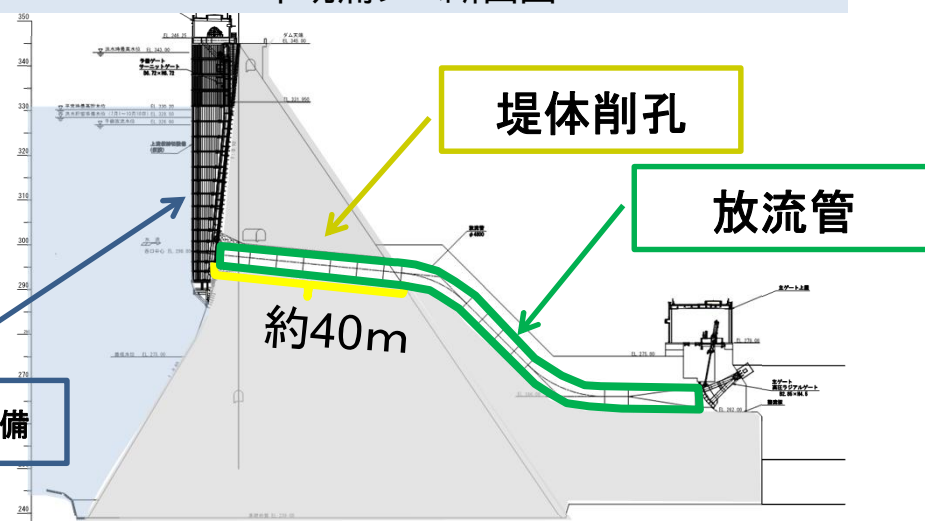
	削孔延長	削孔済の長さ
1号	約40m	約33m
2号	約40m	約34m
3号	約40m	約40m(貫通)

〈放流管設置の進捗〉R7.12月末

	設置延長	設置済の長さ
1号	約118m	—
2号	約122m	—
3号	約119m	約85m

※ベルマウス部を含む

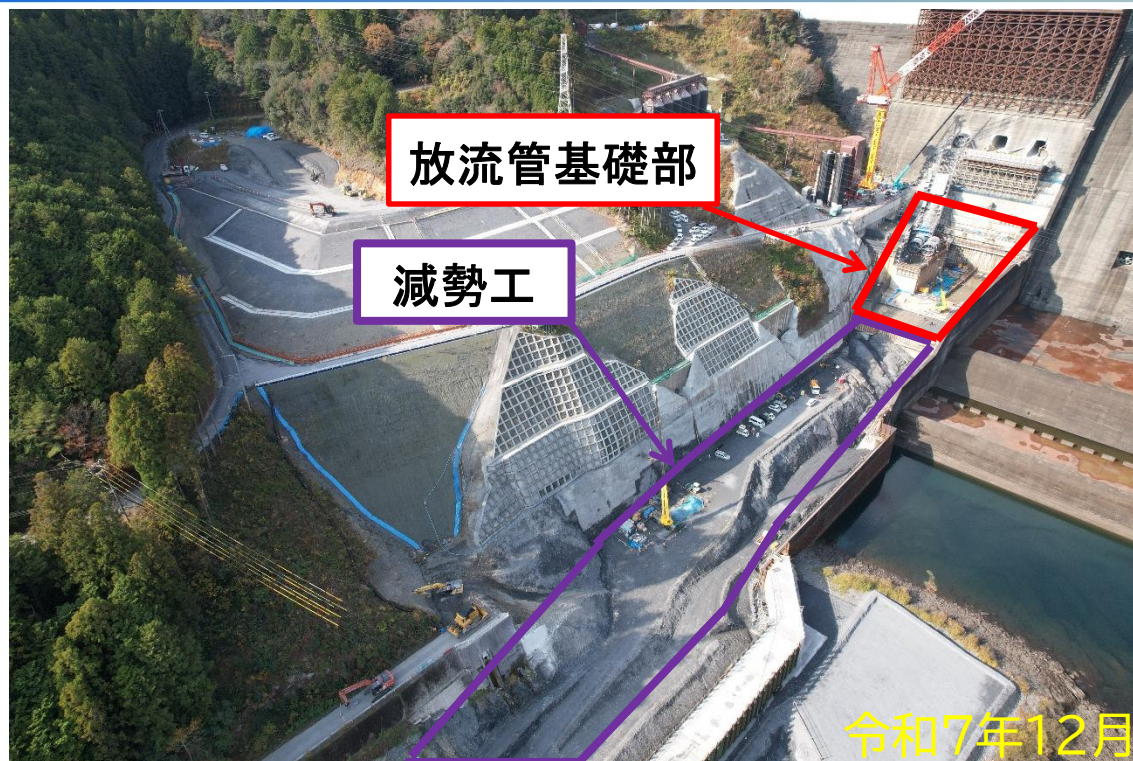
早明浦ダム断面図



放流管設置中(令和7年12月)



# ④コンクリート打設



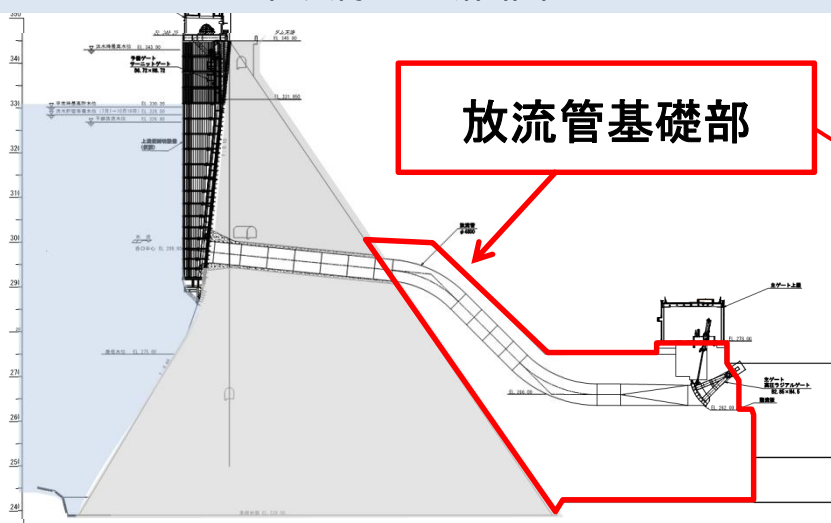
## 〈基礎掘削の進捗〉R7.12月末

総掘削量	掘削済みの量
約160,000m <sup>3</sup>	約 116,000m <sup>3</sup>

## 〈コンクリート打設の進捗〉 R7.12月末

総打設量	打設済みの量
約180,000m <sup>3</sup>	約 47,000m <sup>3</sup>

早明浦ダム断面図



減勢工

早明浦ダム設計図(上から)

